



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本精蝸株式会社

コード番号 5010 URL <http://www.seiro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 寛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 総務部長 (氏名) 細田 八朗

TEL 03-3538-3061

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|--------------|--------|-------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年12月期第3四半期 | 17,163 | △22.9 | 296 | — | 36 | — | △86 | — |
| 27年12月期第3四半期 | 22,265 | — | △765 | — | △860 | — | △616 | — |

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 △61百万円 (—%) 27年12月期第3四半期 △325百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年12月期第3四半期 | △4.82 | — |
| 27年12月期第3四半期 | △34.39 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年12月期第3四半期 | 28,095 | 10,057 | 35.8 |
| 27年12月期 | 31,070 | 10,274 | 33.1 |

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 10,057百万円 27年12月期 10,274百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年12月期 | — | 5.00 | — | 5.00 | 10.00 |
| 28年12月期 | — | 5.00 | — | — | — |
| 28年12月期(予想) | — | — | — | 5.00 | 10.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 | |
|----|--------|-------|------|---|------|---|-----------------|---|------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | 円 銭 |
| 通期 | 23,530 | △19.6 | 610 | — | 290 | — | 50 | — | — | 2.79 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|-----------|--------------|-----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 28年12月期3Q | 22,400,000 株 | 27年12月期 | 22,400,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年12月期3Q | 4,483,664 株 | 27年12月期 | 4,482,141 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 28年12月期3Q | 17,916,801 株 | 27年12月期3Q | 17,918,105 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 3 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成28年1月1日～平成28年9月30日)のわが国経済は、年初からの急激な円高の進行や中国をはじめとする新興国の景気減速、さらには英国の欧州連合離脱問題の影響など先行きに不透明感が強まる中、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策等により企業業績や雇用・所得環境の改善が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、当社業績に大きく影響する原油相場は2月中旬の米国WTI原油26ドル/バレル台、東南アジア産原油22ドル/バレル台を底に上昇に転じ、6月に米国WTI原油は50ドル/バレル台、東南アジア産原油は49ドル/バレル台の高値をつけた後はやや落ち着き、WTI原油は45ドル/バレル、東南アジア産原油は40ドル/バレルを挟んで小幅な動きで推移しました。また、外国為替相場は年初の120円/ドルから急激に円高が進行し、英国の欧州連合離脱が決定した6月24日に99円/ドル台をつけた後は円安に転じ、その後は100円/ドル台前半で小幅な動きで推移しました。

このような状況の中で、ワックス販売は国内販売が高機能製品を中心に堅調を持続し、輸出販売では安価な中国品との競争激化に加え急激に円高が進行する厳しい状況下、新規取引先の開拓等の販売強化に努め、販売数量では前年同期に比較して873トン減の51,407トン、販売高は円高に伴う輸出ワックスの手取り額の減少等が影響し1,503百万円減の12,709百万円の実績となりました。重油販売は火力発電用需要が漸減する中、重油製造量のミニマイズ化を進めた結果、販売数量では22,596キロリットル減の139,858キロリットル、販売高では重油価格が原油価格に連動して大幅に下落したため3,629百万円減の4,316百万円の実績となりました。これにより、売上高はその他商品を含めて5,102百万円減の17,163百万円となりました。一方、損益面においては前期から推進の新原料下の安定操業とワックスの効率生産、採算販売、固定費の削減等の取組みの進捗により、当社単体では前年同期の赤字決算から大幅な損益改善を実現し、営業利益、経常利益、および純利益で黒字を回復し順調に利益を計上しております。また、当期より連結対象となりましたテクノワックス㈱は、高機能製品の更なる拡充に注力するなど受託製造が順調に推移し黒字を計上しております。Nippon Seiro (Thailand) Co., Ltd. は本格稼働には至っておりませんが、新旧取引先による品質評価、生産工程監査も進み、第3四半期連結会計期間(7～9月)より徐々に受注量が増加してきました。この結果、第3四半期連結会計期間(7～9月)は、第1四半期連結会計期間(1～3月)および第2四半期連結会計期間(4～6月)と比較して順調に業績を回復し、第3四半期連結累計期間(1～9月)では、営業利益296百万円(前年同期△765百万円)、経常利益36百万円(前年同期△860百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益△86百万円(前年同期△616百万円)と前年同期に比較して大幅な損益改善を実現しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比較して2,975百万円減少の28,095百万円となりました。これは主として現金及び預金の増加額492百万円、たな卸資産の減少額1,604百万円、流動資産のその他の減少額642百万円、投資その他の資産の減少額218百万円等によるものです。

これに対して負債合計は、前連結会計年度末に比較して2,758百万円減少の18,038百万円となりました。これは主として短期借入金の減少額2,836百万円、長期借入金の減少額628百万円等によるものです。

また純資産合計は、前連結会計年度末に比較して216百万円減少の10,057百万円となりました。これは主として土地再評価差額金の増加額138百万円、利益剰余金の減少額240百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、世界経済の成長減速懸念や英国の欧州連合離脱問題に加え、原油相場の動向や為替相場の先行き、国内景気の動向等引続き不透明な状況が続くものと予想されます。このような環境の中で、平成28年度の経営方針および品質方針および2年目を迎えます中期経営計画NS2017の基本方針に基づき、伊藤忠商事株式会社との資本・業務提携による既存ビジネスの拡充と新規ビジネス創出の推進をはじめ、最適原料の安定確保と更なる効率生産の追求、タイ工場の早期本格稼働等を柱とする経営諸課題に引続き取り組むとともに、業績改善に全力を傾注してまいります。

なお、平成28年12月期通期連結業績予想につきましては、本日(平成28年10月31日)公表いたしました「平成28年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、テクノワックス㈱の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,447 | 1,939 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,157 | 2,474 |
| 商品及び製品 | 4,727 | 4,275 |
| 原材料及び貯蔵品 | 4,865 | 3,712 |
| その他 | 1,180 | 537 |
| 貸倒引当金 | △3 | △2 |
| 流動資産合計 | 15,375 | 12,938 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 9,539 | 9,525 |
| その他(純額) | 5,372 | 5,074 |
| 有形固定資産合計 | 14,912 | 14,599 |
| 無形固定資産 | 111 | 104 |
| 投資その他の資産 | 672 | 453 |
| 固定資産合計 | 15,695 | 15,157 |
| 資産合計 | 31,070 | 28,095 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,172 | 1,021 |
| 短期借入金 | 9,261 | 6,425 |
| 未払法人税等 | - | 70 |
| 賞与引当金 | 42 | 118 |
| 修繕引当金 | 87 | 50 |
| その他 | 1,327 | 1,767 |
| 流動負債合計 | 11,892 | 9,453 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 5,583 | 4,955 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 2,767 | 2,629 |
| 退職給付に係る負債 | 120 | 153 |
| その他 | 432 | 846 |
| 固定負債合計 | 8,904 | 8,584 |
| 負債合計 | 20,796 | 18,038 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,120 | 1,120 |
| 資本剰余金 | 25 | 25 |
| 利益剰余金 | 4,348 | 4,108 |
| 自己株式 | △1,137 | △1,138 |
| 株主資本合計 | 4,356 | 4,114 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 94 | 45 |
| 土地再評価差額金 | 5,853 | 5,991 |
| 為替換算調整勘定 | △30 | △94 |
| その他の包括利益累計額合計 | 5,917 | 5,942 |
| 純資産合計 | 10,274 | 10,057 |
| 負債純資産合計 | 31,070 | 28,095 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 売上高 | 22,265 | 17,163 |
| 売上原価 | 21,316 | 15,129 |
| 売上総利益 | 949 | 2,034 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,715 | 1,737 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △765 | 296 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 6 | 1 |
| 受取配当金 | 36 | 6 |
| 受取賃貸料 | 193 | 32 |
| その他 | 26 | 29 |
| 営業外収益合計 | 263 | 70 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 191 | 189 |
| 為替差損 | 16 | 112 |
| 固定資産賃貸費用 | 133 | - |
| その他 | 17 | 29 |
| 営業外費用合計 | 357 | 331 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △860 | 36 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 3 | 2 |
| 特別損失合計 | 3 | 2 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △864 | 33 |
| 法人税等 | △248 | 119 |
| 四半期純損失(△) | △616 | △86 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | - | - |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △616 | △86 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失(△) | △616 | △86 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 16 | △49 |
| 土地再評価差額金 | 286 | 138 |
| 為替換算調整勘定 | △12 | △64 |
| その他の包括利益合計 | 290 | 24 |
| 四半期包括利益 | △325 | △61 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △325 | △61 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

当社グループの事業セグメントは、石油精製及び石油製品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

当社グループの事業セグメントは、石油精製及び石油製品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。